

下野市総合計画後期基本計画に向けて

市民意識調査(速報)結果をお知らせします。

総合計画後期基本計画(計画期間:平成24年度~27年度)を策定するにあたって、下野市では、市民意識調査を実施し市の現状や行政の取り組みに対する評価や満足度を把握するとともに、今後のまちづくりに対する意見等を調査しました。

調査の概要

- 調査対象 20歳以上の下野市民 10,000人
- 調査方法 郵送による配付・回収
- 調査期間 平成22年8月17日~平成22年8月31日
- 回収率 36.2%

今回の市民意識調査では、「下野市の暮らしやすさ」や「誇れるところ」など全9問の調査を実施しましたが、「暮らしやすいかどうか」との設問に対しては、“暮らしやすい”という肯定的な評価が、72.6%と高い割合を占めました。

「下野市に誇れるところがあるか」との設問に対しては、“他市に誇れるところがある”という回答が、65.0%と比較的高くなっています。

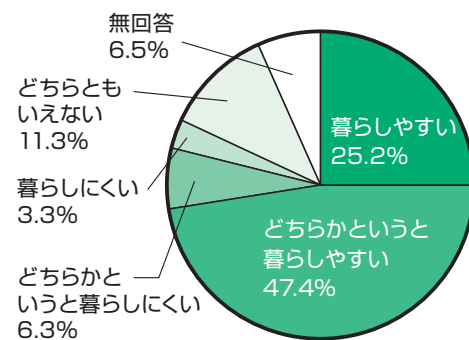
また、市の生活基盤、都市基盤、福祉、保健・医療、教育・文化、産業、行政に関する取り組みに対する満足度については、生活基盤の一つである上水道・下水道の整備がそれぞれ51.5%、47.9%と評価が高かったほか、医療体制に対する評価が47.1%と高く、高度医療の集積が下野市の特徴として挙がっていることから、医療の充実が本市の強みを形成しています。



下野市の暮らしやすさ

「暮らしやすい」「どちらかという暮らしやすい」

72.6%



下野市の暮らしやすさをうかがったところ、「暮らしやすい」が25.2%、「どちらかという暮らしやすい」が47.4%と、合わせて72.6%の人が、“暮らしに満足”しているという結果になりました。

下野市の誇れるところ

「誇れるところが数多くある」「誇れるところが少しはある」

65.0%

下野市の誇れるところをうかがったところ、「誇れるところが数多くある」が8.6%、「誇れるところが少しはある」が56.4%と、合わせて65.0%の人が誇れるところがあると回答し、多くの人が「自治医科大学附属病院をはじめとする高度医療の集積」や「かんぴょう、いちご等の特産品」などが誇れるところと考えています。

